

# **一般社団法人 電波産業会**Association of Radio Industries and Businesses

No.950 2014年10月14日

#### 第5世代移動通信システム国際ワークショップ 2014 を開催

世界の各地域において、2020年及びそれ以降を目標とした第5世代移動通信システムに関する調査研究が活発に行われています。第5世代移動通信システムには、医療、教育のような様々な分野における社会経済的見地から、超高速・超大容量データを利用する、全く新しいモバイルサービスの導入が期待されています。

このような中、10 月 8 日(水)、千葉・幕張メッセ国際会議場にて、CEATEC JAPAN 2014 コンファレンスのプログラムとして、総務省主催、ITU 共催による、「第 5 世代移動通信システム国際ワークショップ 2014」が開催されました。

今回のワークショップでは、日本、欧州、中国、韓国から、第5世代移動通信システムを検討している団体代表者と、無線通信の国際標準化機関の代表者が一堂に会し、第5世代移動通信のコンセプト、サービス及び技術に関する展望等について、意見交換を行いました。



第5世代移動通信システム国際ワークショップ 2014 の様子

開会にあたり、総務省の長谷川 岳 総務大臣政務官、ITU-R の Colin Langtryke 研究委員会担 当部部長からご挨拶をいただいた後、本ワークショップ組織委員会の委員長である京都大学の吉田 進 特任教授名誉教授から基調講演をいただき、ITU-R WP5D の Hakan Ohlsen 副議長から 「IMT-2020 の国際動向について」、欧州 5G Public-Private Partnership(5GPPP)の 5G インフラストラクチャー協会の Werner Mohr 議長より「5GPPP の活動について」、中国 IMT-2020 プロモーション協会の Wang Zhiqin 副議長より「IMT-2020 (5G) プロモーション協会の活動について」、韓国 5G フォーラムの Han Youngnam 運営委員会委員長から「5G のサービス要求条件と具現化技術」、ARIB 2020 and Beyond Ad Hoc のリーダである株式会社 NTT ドコモの中村 武宏 先進技術研究所 5G 推進室長から「2020 and Beyond Ad Hoc の活動について」の演題で有意義なご講演をいただきました。欧・中・韓・日企業のアジア諸国への展開、米国企業の動向、新しいビジネスモデルの在り方など、さまざまな観点から意見交換がなされました。

続いて、パネルディスカッションを開催し、ご講演をいただいた皆さまをパネリストに迎え、日本経済新聞社の関口 和一 論説委員をモデレータに、第5世代移動通信の将来動向と標準化の進展について意見交換を行いました。

当日は約600名の方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了いたしました。



総務省 総務大臣政務官 長谷川 岳 様



ITU-R 研究委員会担当部部長 Colin Langtry 様



ワークショップ組織委員会委員長 京都大学 特任教授名誉教授 吉田 進 様



ITU-R WP5D 副議長 Hakan Ohlsen 様



5G PPP 5G インフラストラクチャー協会 議長 Werner Mohr 様



IMT-2020 プロモーション協会 副議長 Wang Zhigin 様



韓国 5G フォーラム 運営委員会委員長 Han Youngnam 様



ARIB 20 B Ad Hoc リーダ NTTドコモ 5G 推進室長 中村 武宏 様



モデレータ 日本経済新聞社 論説委員 関ロ 和一 様

## 10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします(詳細はARIBニュース No.946 2014年9月16日を参照ください)。

#### ARIBからのお知らせ

#### DiBEG 主催講演会のお知らせ

「コスタリカ、ペルーにおける地上デジタルテレビ放送の現状と展望について」

デジタル放送普及活動作業班(DiBEG: Digital Broadcasting Experts Group)では、我が国で開発された地上デジタルテレビ放送方式 (ISDB·T) の海外普及のため、関係省庁等と連携しつつ、現地セミナーへの専門家の派遣や試験放送への支援などの働きかけを継続的に行ってきました。 2006年にブラジルで最初に ISDB·T 方式が採用されて以来、ほかの中南米各国等も次々と ISDB·T 方式の採用を決定し、現在海外 1 6 カ国に普及しています。

コスタリカは 2010 年 5 月に ISDB-T 方式の採用を決定し、本年 5 月から国営放送局が首都サンホセにおいて本放送を開始。ペルーでは、2009 年 4 月に ISDB-T 方式の採用を決定し、2010 年 3 月に国営放送局が首都リマで本放送を開始したのを皮切りに、現在では民放局も併せて 20 局がリマ/カリャオ地域にて地上デジタル放送を実施しています。

中南米等の採用国に対する支援活動の一つとして、独立行政法人国際協力機構(JICA)を通じて地上デジタルテレビ放送導入支援アドバイザーが派遣されていますが、コスタリカ派遣の吉見専門家並びにペルー派遣の広瀬専門家が任務を終えられ帰国されました。

そこで、DiBEGでは、現地の放送事情に詳しい吉見様と広瀬様をお招きして、コスタリカとペルーにおける地上デジタルテレビ放送の現状と展望についてご講演いただくこととし、せっかくの機会ですので、広くARIB会員の皆様にもお声かけさせていただくこととしました。

つきましては、下記のとおりご案内させていただきますので、奮ってご参加の程よろしくお願い いたします。

記

1. 日 時: 2014年10月28日(水) 16時00分~17時30分

2.場 所:一般社団法人電波産業会 会議室 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階

3. 題 名:コスタリカ、ペルーにおける地上デジタルテレビ放送の現状と展望について

4. 講師:日本放送協会 技術局計画部 副部長 吉見 智文 様 同 技術局報道施設部 広瀬 克昌 様

5. 対 象: ARIB 正会員及び賛助会員

6. 参加者:60名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)

7. 申込先:当会ホームページ (http://www.arib.or.jp/) の「講演会等開催案内」まで

8. 参加費:無料

9. 問合せ先 : 研究開発本部 ISDB-T 普及グループ 原田 まで

TEL: 03-5510-8661 E-mail: di-jim3@arib.or.jp

# 第 126 回電波利用懇話会開催のお知らせ 10 月 31 日開催 「第 5 世代移動通信システムに関するアドホックの活動報告について 一白書及び最新の動向 一」

ARIB ニュース No.948 で既にお知らせしましたが、高度無線通信研究委員会傘下の 2020 and Beyond AdHoc で検討を行った 2020 年以降の移動通信に関する白書が完成しました。今回の電波利用懇話会では、白書の概要及び第 5 世代移動通信システムの最新動向等について、電波産業会 2020 and Beyond AdHoc 中村リーダ(NTT ドコモ)、松永サブリーダ(KDDI)、中村サブリーダ(富士通)をお迎えしてご講演をいただきます。

残席が少なくなってきましたので、参加ご希望の方は早めにお申込みをお願いします。

記

1 日 時:平成26年10月31日(金)14時から15時30分まで

2 場 所:一般社団法人電波産業会 会議室

東京都千代田区霞が関1-4-1日土地ビル11階

3 題 名:「第5世代移動通信システムに関するアドホックの活動報告について

-白書及び最新の動向 -」

4 講 師 : 電波産業会 2020 and Beyond AdHoc リーダ 中村 武宏様 (NTT ドコモ)

サブリーダ 松永 彰様 (KDDI) サブリーダ 中村 隆治様 (富士通)

5 対 象:ARIB 正会員及び賛助会員

6 参 加 者 : 60 名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)

7 申 込 先 : 当会ホームページ (http://www.arib.or.jp/) の「講演会等開催案内」まで

8 参加費:無料

9 問合せ先:企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで

TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2014@arib.or.jp

#### aribo**b**je

# 第 125 回電波利用懇話会を開催 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針について」

10月3日に、第125回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、ARIB が事務局を務める電波環境協議会に設置された「医療機関における携帯電話等の使用に関する作業部会」の座長である加納 隆埼玉医科大学教授をお迎えして、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針について」と題して、指針策定の背景や目的、関連する調査、指針の内容等についてご講演を頂きました。

全体をとおし、数多くの会員の皆様に受講いただき、EMC(電磁両立性)管理の具体的な方法や 試験条件等などの多くの質疑応答が行われました。

なお、当会の会員 Web サイト (http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html) において、 講演のプレゼンテーション資料を公開予定です。



第 125 回電波利用懇話会の様子と講師の加納教授

#### 今週の ARIB 内会合(10 月 14 日~10 月 17 日)

10月14日(火)デジタル放送システム開発部会 多重化作業班

10月14日 (火) デジタル放送システム開発部会 V-Low MM 放送 TG

10月14日(火) 超高精細度 TV スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース検討作業班

10月15日(水)デジタル放送システム開発部会 音声符号化方式作業班

10月 15日(水)デジタル放送システム開発部会 超高精細度 TV 放送受信機 TG

10月15日(水)第2回UWB作業班

10月15日(水)第210回業務委員会

10月16日(木)デジタル放送システム開発部会 データ放送方式作業班 HTML-TG

#### 今週の国際会合(10月 14日~10月 17日)

10月15日 (水) ~22日 (水) 第20回 ITU-R WP5D 会合 (ジュネーブ・スイス)

#### 総務省からのお知らせ

「放送法施行規則の一部を改正する省令案」及び「放送法第 20 条第 2 項第 2 号及 び第3号の業務の実施基準の認可に係る審査ガイドライン案」に対する意見募集 【平成 26 年 10 月 1 日発表】

総務省では、平成26年6月27日に公布された「放送法及び電波法の一部を改正する法律」(平 成 26 年法律第 96 号) の施行に必要となる規定等の整備のうち日本放送協会がインターネットを活 用して行う業務に係る規定等の整備を行うため、「放送法施行規則の一部を改正する省令案」及び「放 送法第20条第2項第2号及び第3号の業務の実施基準の認可に係る審査ガイドライン案」を作成 しました。

これらの案について、平成 26 年 10 月 2 日 (木) から 31 日 (金) までの間、意見募集を行って います。

詳細については【平成26年10月1日の総務省報道資料】をご覧ください。



## Association of Radio Industries and Businesses

**ARIB NEWS** 発 行

一般社団法人 電波産業会 <sup>®</sup>100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11 F TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103 TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103 http://www.arib.or.jp E-mail arib\_news@arib.or.jp